

中国圏広域地方計画協議会ワーキング会議 構成員(関係者)一覧

H19. 3. 26現在

ワーキング会議名	産業の広域連携と中国圏の特徴となる産業振興				中山間地域と都市との連携、それぞれが果たす役割				中国圏内外の交流連携				
構成員	座長	広島大学大学院社会科学部教授 戸田 常一			山口県立大学大学院健康福祉学研究所教授 小川 全夫			(財)とっとり政策総合研究センター理事長 道上 正規					
	副座長	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 中村 良平			広島大学地域経済システム研究センター長・教 伊藤 敏安			山口大学経済学部長・教授 藤井 大司郎					
					広島女学院大学教授 折登 美紀			県立広島大学副学長・経営情報学部教授 小見 志郎					
	地方公共団体	鳥取県	商工労働部	次長	岡村 整 諮	鳥取県	企画部地域自立戦略課	課長	森安 保	鳥取県	文化観光局観光課	課長	木村 敬
			企画部政策企画課	参事	衣笠 章		生活環境部景観まちづくり課	課長	竹森 達夫		企画部政策企画課	参事	衣笠 章
							企画部政策企画課	参事	衣笠 章				
		鳥根県	政策企画局	政策企画監	大國 羊一	鳥根県	政策企画局	政策企画監	大國 羊一	鳥根県	政策企画局	政策企画監	大國 羊一
			政策企画監室				政策企画監室				政策企画監室		
		岡山県	関係部関係課 又は企画振興課	課長	調整中	岡山県	関係部関係課又は企画 振興課	課長	調整中	岡山県	関係部関係課又は企画 振興課	課長	調整中
		広島県	政策企画部企画調整局	企画監	橋本 康男	広島県	政策企画部企画調整局	企画監	橋本 康男	広島県	政策企画部企画調整局	企画監	橋本 康男
		山口県	総合政策局 政策企画課	課長	斉藤 保夫	山口県	総合政策局 政策企画課	課長	斉藤 保夫	山口県	総合政策局 政策企画課	課長	斉藤 保夫
		広島市	企画総務局企画調整部 企画調整第三担当	課長	三好 史久	広島市	企画総務局企画調整部 企画調整第三担当	課長	三好 史久	広島市	企画総務局企画調整部 企画調整第三担当	課長	三好 史久
						総社市	総務部	次長	角野 正明	北九州市	企画政策室	主幹 <small>(将来 構想担当課長)</small>	中本 成美
					萩市	総合政策部	部長	湯本 重男					
					安芸太田町	企画財政課	課長	佐々木幸男					
経済界	調整中			(株)山陰経済研究所 主任調査役			永井 康之	JTB大阪支社 西日本国内商品事業部 地域部長	田中 正				
	調整中			調整中				調整中					
地方支分部局 (事務局兼務)	中国経済産業局	関係部関係課	課長	調整中	中国地方整備局	企画部	企画調整官	内藤 正彦	中国地方整備局	企画部	企画調整官	内藤 正彦	
	中国地方整備局	企画部	企画調整官	内藤 正彦	建政部	都市調整官	宇随 幸雄	中国運輸局	企画観光部	計画調整官	水岩田 博		
		建政部	都市調整官	宇随 幸雄				大阪航空局	飛行場部 空港企画調整課	課長	八木 千津男		
	中国運輸局	企画観光部	計画調整官	水岩田 博				広島空港事務所	広域空港 管理官		芦山 雅俊		
オブザーバー(仮称)	中国管区警察局	総務監察部警務課	課長	藤川 富雄	中国管区警察局	総務監察部警務課	課長	藤川 富雄	中国管区警察局	総務監察部警務課	課長	藤川 富雄	
					中国四国厚生局	総務課	課長	藤田 三男	中国経済産業局	関係部関係課	課長	調整中	
					近畿中国森林管理局	企画調整室	室長	諏訪 実					
					中国経済産業局	関係部関係課	課長	調整中					
アドバイザー	〇〇	学識者会議メンバーに意向を会議開催毎に確認		鳥根県中山間地域研究センター地域研究グループ	藤山 浩			〇〇	学識者会議メンバーに意向を会議開催毎に確認				
アドバイザー	〇〇			鳥根大学教育学部助教授	作野 広和			〇〇					
				〇〇									
				〇〇	学識者会議メンバーに意向を会議開催毎に確認								

【資料4】

※ 海上保安本部:沿岸・海域に係る検討案件が発生した場合にはオブザーバー参加予定。
 ※ 中国総合通信局、中国四国農政局、中国四国地方環境事務所については、調整中。

■中国圏広域地方計画 ワーキング会議の概要（案）

●設置目的

中国圏が抱える課題と国土政策上の課題を踏まえつつ、中国圏特有の課題を明確にしていくため、3つのテーマについて検討するワーキング会議を設置する。

● 構成員

学識者（座長・副座長）、関係地方公共団体、地方支分部局、経済界により、各テーマのワーキング会議を構成する。

● 構成員の数

ワーキング会議では、具体的な議論になるため15名程度（以下）で構成する。

● 開催スケジュール（現時点の想定）

平成19年5月頃に設立

平成19年7月頃に中間とりまとめ

平成19年10月頃に最終とりまとめ

● 議事内容（現時点の想定）

- ①テーマ毎の具体的な視点について整理する。
- ②新たな視点での必要調査項目を決定する。
- ③調査結果（中間的なものを含む）から重点課題を抽出する。
- ④重点課題に対する対応策を検討する。

● その他

・規約及び詳細（具体的）な検討内容については、共有検討テーマ選定（案）を参考にそれぞれの事務局が素案を作成する。

●**構成員の考え方（案）**

1. **座長：**

役割：会議の総括及び会の代表

選定方法：学識者会議の座長から指名

2. **副座長：**

役割：座長を補佐する。

選定方法：各ワーキング会議の座長から指名（学識者会議の委員から）

3. **地方公共団体の関係課長等**

運営会議の地方公共団体で参加を希望する機関とする。

（担当部局でも可）

4. **経済界**

運営会議構成員である中国経済連合会及び中国地方商工会議所連合会からの推薦など

5. **地方支分部局（事務局を兼ねる）**

会議への資料提供及びとりまとめに関与できる機関により構成

6. **オブザーバー**（〔観察者の意〕発言はできるが、発議権はない。）

地方支分部局のうち上記5に属さず、参加を希望する場合は、オブザーバーとして参加。

7. **アドバイザー**（助言者の意。）

学識者会議委員から意見を伺う場合は、アドバイザーとして参加。

又、学識者会議委員でワーキングへ参加を希望される場合も、同様にアドバイザーとして参加。